

山本眞樹夫名誉教授 年譜

(学歴) 1972年 3月 小樽商科大学商学部管理科学科 卒業
 1978年 3月 東北大学経済学研究科経済学専攻 退学

(職歴) 1978年 4月 福島県立会津短期大学講師
 1981年 4月 福島県立会津短期大学助教授
 1982年 4月 小樽商科大学助教授
 1990年 4月 同 教授
 1996年 4月 同 学生部長
 2002年 4月 同 副学長 (学術担当)
 2004年 4月 同 理事 (総務担当副学長)
 2008年 4月 同 学長
 2014年 3月 同 退職

(所属学会) 日本会計研究学会, 日本会計史学会, 日本簿記学会

山本眞樹夫名誉教授 研究業績

(論文)

1. 「動態論形成過程における剰余金会計の役割」, 『研究年報経済学』 37巻 4号, p151-165, 1976
2. 「マーブル再評価剰余金論の再検討—一時価情報の開示と利益計算」, 『研究年報経済学』 38巻 3号, p113-125, 1976
3. 「効率的資本市場仮説と財務会計情報の評価」, 『会津短期大学学報 (人文・社会科学編)』 36号, p65-78, 1979
4. 「会計情報評価論の意義と限界—証券価格による会計情報評価フレームワー

- クにおける検証仮説と支持仮説], 『研究年報経済学』 41巻 2号, p29-44, 1979
5. 「財務会計情報の評価—情報評価アプローチの意義と限界」, 『会計』 116巻 6号, p112-123, 1979
 6. 「会計情報評価規準としての異常業績指標 (古瀬大六教授停年退官記念号)」, 『研究年報経済学』 42巻 4号, p71-87, 1981
 7. 「会計情報評価と API—『会計情報評価規準としての異常業績指標』再論」, 『研究年報経済学』 43巻 4号, p53-65, 1982
 8. 「会計的思考と会計的記号」, 『研究年報経済学』 44巻 2号, p85-102, 1982
 9. 「会計的思考の論理—会計的思考モデル試案—」, 『研究年報経済学』 45巻 2号, p75-89, 1983
 10. 「会計的思考と資金計算の構造」, 『商学討究』 34巻 4号, p63-88, 1984
 11. 「三式簿記拡張の基礎にあるもの—井尻教授『三式簿記の研究』の検討 (簿記理論の新しい地平<特集>)」, 『企業会計』 36巻 9号, p34-39, 1984
 12. 「会計的思考と会計測定構造—会計的思考モデルによる資金計算構造の分析を中心として」, 『会計』 126巻 3号, p40-56, 1984
 13. 「会計測定構造における測定対象: Staubus 教授の所論を手掛かりに」, 『研究年報経済学』 49巻 1号, p69-82, 1987
 14. 「会計上の利益概念の意味 (会計学上の利益概念の検討<特別企画>)」, 『企業会計』 39巻 8号, p54-60, 1987
 15. 「会計における交換取引の認識と測定: 『会計的思考モデル』と損益計算」, 『商学討究』 38巻 2号, p1-26, 1987
 16. 「事後情報の機能と会計測定システム」, 『産業経理』 48巻 1号, p70-77, 1988
 17. 「会計情報の意味と構造—現行の会計システムに関する意味論的アプローチからの一考察—」, 学位請求論文 (東北大学), 1991
 18. 「買戻し条件付き売却取引の認識と測定—『会計的思考モデル』の妥当性の一検証」, 『会計』 142巻 4号, p22-34, 1992
 19. 「複式簿記の構造と資金計算」, 『日本簿記学会年報』 11号, p1-6, 1996
 20. 「現金収支計算書の作成」, 『企業会計』 48巻10号, p36-42, 1996

21. 「会計的思考モデルと有価証券の評価」, 『研究年報経済学』 63巻 4号, p1-14, 2002

(単著)

1. 『会計情報の意味と構造』, 同文館出版, 1992

(共著)

1. 久野光朗編著『簿記論講義』, 同文館出版, 1986
2. 久野光朗編著『簿記論演習』, 同文館出版, 1987
3. 『簿記から会計への展開』, 同文館出版, 1992
4. 久野光朗監訳『欧州比較国際会計史論』, 「スペインにおける財務報告の歴史」, 同文館出版, 1998
5. 久野光朗編著『簿記論問題集』, 同文館出版, 2000
6. 小樽商科大学ビジネススクール編『MBAのための財務会計—基礎から国際会計基準まで—』, 同文館出版, 2004
7. 久野光朗編著『新版簿記論テキスト』, 同文館出版, 2006

(書評・論説等)

1. 「黒沢清『商業簿記(新訂増補版)』の検討(大学レベルの簿記テキストの検討(共同研究))」, 『産業経理』 45巻 1号, p61-64, 1985
2. 書評: 久野光朗著『アメリカ簿記史—アメリカ会計史説—』(同文館 1985), (12)+pp.412の紹介, 『商学討究』 36巻 2号, p107-114, 1985
3. 書評: 今福愛志著『会計政策の現在』, 『産業経理』 52巻 1号, p58-59, 1991
4. 書評: 辻山栄子著『所得概念と会計測定』, 『産業経理』 52巻 4号, p76-77, 1992
5. 書評: 大日方隆著『企業会計の資本と利益—名目資本維持と実現概念の研究』, 『会計』 146巻 3号, p457-459, 1994
6. 書評: 杉本典之・洪慈乙著『キャッシュフロー計算書—その国際的調和化

- の現状と課題－], 『企業会計』 48巻 1号, p130, 1996
7. 「現金収支計算書の作成 (特集 現金収支計算書の有用性)», 『企業会計』 48巻10号, p36-42, 1996
 8. 書評: 菊池誠一著『連結経営におけるキャッシュフロー計算書』, 『旬刊経理情報』, 858号, p80, 1998
 9. 「ビューアングル 時価評価と貸借対照表観」, 『旬刊速報税理』 20巻18号, p1, 2001
 10. 「小樽商科大学における社会人大学院教育－地方文系単科大学の一事例－」, 『高等教育ジャーナル－高等教育と生涯学習－』, 10号, p119-126, 2002
 11. 「ビジネススクールでの学びのすすめ」, 『国立大学マネジメント』 1巻 7号, p31-33, 2006
 12. 「法人化後の小樽商科大学－地方小規模単科大学からの報告－(1)」, 『文部科学教育通信』 210号, p10-11, 2008
 13. 「法人化後の小樽商科大学－地方小規模単科大学からの報告－(3)」, 『文部科学教育通信』 212号, p16-17, 2009
 14. 「法人化後の小樽商科大学－地方小規模単科大学からの報告－(2)」, 『文部科学教育通信』 211号, p14-15, 2009